

受賞技術	人工知能を用いた栈橋の残存耐力評価技術
技術開発者	五洋建設株式会社 宇野 州彦
	
受賞にあたって	
<p>この度は、栄誉ある国土技術開発賞 優秀賞を賜り、誠にありがとうございます。本技術の開発や実栈橋への開発技術の適用にあたり、ご指導、ご支援をいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。</p> <p>本技術は、栈橋構造物を対象に点検診断結果から得られる劣化度や性能低下度だけでは判断が難しい補修補強や更新のタイミングを、栈橋の「寿命」を予測することで具体的に提示することを可能にしたものです。これにより、「事後保全」から「予防保全」への転換が図られ、港湾施設の維持管理や補修補強が積極的に進むものと考えております。老朽化する港湾施設が増加する中、AI（人工知能）を活用することにより、早期に構造物の寿命を推定し、施設管理者が意思決定しやすい情報をスピーディーに提供することができます。</p> <p>また本技術の開発にあたっては、共同開発者である東京工業大学の岩波光保教授のご指導なくしては実現できませんでした。ここに改めて感謝申し上げます。</p>	
受賞後の動き	
<p>本技術はすでに複数の栈橋やドルフィン構造に適用しておりますが、今後増加する老朽化した港湾施設に対しても本技術を適用することで、合理的で計画的な維持管理が促進されるよう、一層努力していく所存です。また、点検・診断技術に関しては、無線LANポートやAIによる劣化度判定技術等がすでに開発されておりますので、それらと本技術を組み合わせることで、調査から劣化診断、残存耐力評価までを効率のよい維持管理システムとして運用していくことも考えております。さらに、港湾施設に留まることなく、様々なインフラ施設に対しても展開していけるよう、引き続き本技術の高度化を図りたいと思います。</p>	